

(様式1)

# 自 己 評 価 表

学 校 名 愛媛県立八幡浜工業高等学校

学校番号 37

教育方針	教育基本法の本質にのっとり、人格の完成を目指し、民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を養い、公共の福祉に貢献する人間性豊かで実践的な技術者を養成する。	重点努力目標	基礎・基本の定着と、意欲を持って心豊かに生きる生徒の育成 -思いやる心 自律の心 挑戦する心- 『ものづくりから人づくり・夢づくり、信頼される学校づくり』 1 確かな学力を身に付けさせる学習指導の推進 2 一人一人を見つめた温かい生活指導の推進 3 個性豊かな人間性の育成と特別活動の充実 4 職業観・勤労観の育成と実践的キャリア教育の推進 5 地域を愛し行動できる人間の育成（ボランティア活動の推進）
------	---	--------	--

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学 校 経 営	教育活動の公開と情報発信	各種「たより」の家庭への持ち帰らせや掲示板への貼り出し、ホームページの内容を充実させることにより、教育活動の情報を発信する。	B	地域住民の方々からの評価は高い。保護者の方から「配布物が家庭に届いていない」との話もある。	保護者に毎月始めに「たより」が届くことを知っていただき、届かない場合は子どもに催促していただくようお願いしていきたい。 生徒に対しては、保護者に必ず渡すように指導を継続していく。
	保護者の意見反映	P T A総会や理事会、保護者懇談会への参加率向上を図り、保護者の意見・要望を把握して、学校改善に生かす。	B	P T A総会への出席率は28%で昨年度より向上した。 保護者懇談会への出席率は98%と、昨年度よりさらに高い数値となった。	P T A総会への出席を、各地区ごとにP T A役員の方々から促していただく。 総会前の授業自主参観や、進路ガイダンスの機会を今後も設けたい。
	図書館環境の整備と充実	読書啓発活動を推進し、生徒希望図書の購入等により、図書館環境の整備に努め、年間一人当たりの図書貸出し冊数3.5冊を目指す。 「図書館通信」を年10回発行する。	B	一日当たりの図書館利用者数、一人当たりの年間図書貸出し冊数は共に目標値に達している。	図書館から発信する情報について、生徒と教職員の評価に差があった。生徒が図書館に来る機会が増えるように、今後も情報内容、発信の方法等を検討し、継続的に読書啓発活動を行ってきたい。
学 習 指 導	教科指導の充実	生徒による授業評価をもとに教科指導の課題について教科会で検討し、授業改善を図る。 相互授業研修期間中、一人年間5回以上の授業を参観し、授業力向上に努める。	C	教育課程は教職員の評価が3.4であり、保護者の評価も3.2とまずまずの達成率である。 授業評価をもとにした授業改善については、教職員の評価が3.3であるが、生徒の評価は2.9と0.4ポイントの差が見られる。	教育課程については、新課程及び学科改編の完成年度であり、引き続き研究を重ねたい。 授業評価をもとにした授業改善については、教職員と生徒の評価に開きがある。教職員側は更に改善を重ね、生徒には何らかの見えるフィードバックが出来るよう改善したい。
	基礎学力の向上	定期的な家庭学習時間調査を行い、家庭と連携し、学習習慣の定着を図る。	B	一日当たりの家庭学習時間(平日)は、昨年度より26分増えて目標の1時間を達成できた。 学力の向上に関して、昨年度と比較して、生徒は同じであるが、教職員は0.2ポイント上がっている。	家庭学習時間は増加傾向にあり、来年度も目標を達成できるようにしたい。 また、日々の授業や小テストの実施など、基礎学力の向上に向けた学習を継続して取り組みたい。

工業	実践的技術者としての知識・技術	各種資格取得・検定試験合格個数（3年間）6個以上を目指す。ジュニアマイスターの認定（ゴールド・シルバー15人以上）を目指す。	B	資格取得数は6.4個で目標を達成することはできた。ジュニアマイスター顕彰でも、ゴールド17人、シルバー25人で目標を達成できた。	地域住民の方々に本校の取り組みが知られていないようである。メディア等で取り上げられるような活動に力を入れていきたい。
	教育	ものづくりの推進	B	ものづくりコンテストは旋盤で3位、電気工事は4位、測量は優勝、四国大会では2位であった。出前授業では宮内小、神山地区公民館で実施、夏休みにはものづくり教室、夏休み親子でロボット教室を開催、その他各種行事へ参加した。また本年度もロボットアメリカンフットボール全国大会に出場し、ベスト8経済産業大臣賞を受賞した。	生徒はものづくりに対して積極的に取り組んでおり、満足できる結果も収めることができた。今後更により結果が得られるように、継続して指導していきたい。
特別	ボランティア活動の推進	各教室のボランティア活動関係の掲示板を充実させ、参加する意義を教えるとともに意識の啓発にも努め意欲的な参加を目指す。	C	家庭クラブを中心に行っている独居老人へのバラプレゼントや年賀状、保育園との交流などの活動が地域に根付いており、地域からの評価も高い。	1年時の交流・ボランティア活動を経験した生徒の感想をみると、ボランティア活動への意欲や意識の高さを実感する。意欲や意識が行動に移せるよう情報提供を充実させたい。
	学校行事の充実	充実した生徒会の委員会を10回以上開催し、積極的に参加しなくなるような学校行事にする。	B	バラ展には雨天にもかかわらず約400名、工業祭には中学サッカーの観戦者を含め約700名の方が来校された。アンケート配付の地域の方も約6割の家庭で来校されている。生徒会執行部の活動をはじめ専門委員会による取り組みも前向きに行われている。	学校行事に対しては、外部からも高い評価をいただいている生徒たちの前向きさが認められている証だと考える。生徒数が減少していくなかで生徒一人一人が主体的に活動していける行事を目指して取り組んでいきたい。
	活動	部活動の充実	B	今年度も全員の生徒が部活動に所属している。なお、途中で部変更した者が8名いた。内訳は運動部178名、文化部98名（兼部者：28名）レスリング部の総体10連覇をはじめ機械研究部の全国大会出場、写真部の高文連優秀賞など活発な活動が成果として現れている。	生徒数減少により部員数不足等の課題も考えられる。小規模校における部活動のありかたを具体的に考えていく必要がある。また、学習と部活動の両立についても生徒・保護者ともに望んでいることであることがアンケートからも分かる。効果的な活動計画を含め課題を明確にして取り組んでいく必要がある。
生徒	基本的な生活習慣の確立	保護者との連携を密にし、欠席・遅刻・早退ゼロを目指す。頭髪指導を徹底し、高校生らしい身だしなみを心がけさせる。	B	遅刻数は、1年8人8回、2年10人・19回、3年6人・6回である。頭髪服装については、違反率が減少しており、校内での大きな乱れはなく一定の成果が見られる。	今後も、ホームルーム担任を中心とした個別指導と入室届けの徹底及び5分前登校の奨励を通して、生徒に自覚を促していきたい。また、家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣が身に付くよう保護者に協力をお願いしていきたい。
	指導	規範意識と社会性の醸成	B	挨拶について、一部気になる生徒はいるが、教職員・生徒の評価は高く、校内では良好である。校門指導、教科・部活動での指導の成果が現れていると考える。校外での挨拶や交通ルール・マナーについては、地域住民の評価が依然として低く、一部の生徒について十分な成果が現れていない。	非行防止教室、全校集会等での指導を通して、規範意識を高めていきたい。また、校門指導、登校指導を通して自主的なヘルメットの着用等の交通安全意識を高めたい。挨拶については、これまでの校門指導を中心とした挨拶運動を継続していきたい。

人 権	人権啓発の推進	「人権だより」やその他の啓発資料を通して、人権尊重の意識を高める。 「人権だより」を年10回発行する。	B	「人権だより」、ホームルーム活動、講演会、集会などを通じて、生徒の人権意識を高めることはできた。 「人権だより」の年間10回の発行は、計画通り達成できた。	「人権だより」を配布時のSHRで読んでもらえるよう、配布のタイミングを他のたよりとずらして配布する。また、保護者への啓発のために持ち帰りをより徹底する。
	教育	いじめをなくする取組	C	いじめに対する意識を高めるためのホームルーム活動を実施すると、いじめた、いじめられたと訴えた生徒の数が増加し、ゼロにはほど遠い数値となった。しかし、いじめに対する意識は高まったのではないかと思う。 いじめに関するアンケートは、予定通り年2回実施できた。	いじめに対する意識を高めるために、人権だよりやホームルーム活動を通じて、学年当初に啓発する。 いじめの早期発見、早期解決のために、教職員アンケートを実施する。
進 路	就職指導の充実	望ましい職業観・勤労観を育成する。 就職試験の1次合格率90%以上を目指す。	A	職場見学や応募前職場見学、マッチングフェア等の行事によって生徒の職業観や勤労観の育成を図る事ができた。面接や筆記試験において良い評価を得る者が増えたことなど、目標はほぼ達成したと言える。11月末までに就職を希望する者全員が内定を得ることができた。	職場見学、インターンシップ、マッチングフェア等を通して職業観、勤労観を育む。さらに日々の学校生活の中で働くことを自分のこととして真剣に考えるよう生徒個々に働きかける。基礎学力の不足が懸念されるので、日々の学習活動の大切さと積み重ねの重要性を理解させ、行きたい企業へ1回の受験で合格できるよう学力の向上と定着を目指す。
	指 導	進学指導の充実	A	各種模擬試験や補習等で、進学に対する意識付けと学力の向上ができた。 年内に進学を希望する生徒全員が決定し、合格率100%を達成できた。	2年次の早い段階から進学希望者に対し、進学する意義や目的を明確に持たせる指導を行い、3年次には明確な志望校の決定と進学に対する目標を持たせる。受験形態の多様化に対し正確な情報を提供し、本人に最も良い入試となるよう指導助言に努め、行きたい学校への合格を目指す。
学 校 保 健	健康管理と保健指導の充実	健康診断結果の的確な把握と適切な指導を行うとともに、具体的な指導を計画し基本的生活習慣の確立を図る。 「保健だより」を毎月1回発行する。	B	健康観察を継続し、欠席理由の把握、感染症予防の徹底を図るとともに、基本的生活習慣の確立を目指した。健康管理や衛生管理について情報発信を行い、家庭との連携も深めることができ、出席停止者は減少した。	課題は冬の感染症予防である。引き続き基本的生活習慣の確立を目指し、生徒自らが考えて行動できるように、保健だよりや掲示物の内容を工夫し、生徒保健委員会活動を通じた啓発活動について検討し、実践していきたい。
学 校 安 全	安全意識の向上	様々な非常変災に対応できるよう、避難訓練を年3回実施することにより、生徒・教職員の安全に対する意識向上を図る。	B	本年度は2回の原子力防災訓練を含め、6回防災訓練を実施した。さらに、予告なしの訓練も1回実施した。生徒・教職員の安全に対する意識は向上してきている。避難所要時間については、点呼の方法を変更（より確実にするため名票で確認）したので時間がかかっている。	緊張感を持って、今後も生徒・教職員の意識向上に向けて努力を持続させる。
学 校	校舎・校庭・教室の環境	校舎や校庭・教室の美化・整理整頓に努める。	B	校舎内の美化・整備に努めることができた。	校内美化・整頓の意識を持ちより良い環境になるよう目指していきたい。
行 政	丁寧な接遇の励行	丁寧な来客対応・電話対応に努める。	B	窓口で来校者への対応や電話対応等も達成率が上昇している。	校内で接遇研修等を行い、窓口・電話対応をより丁寧に行えるよう努めたい。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。